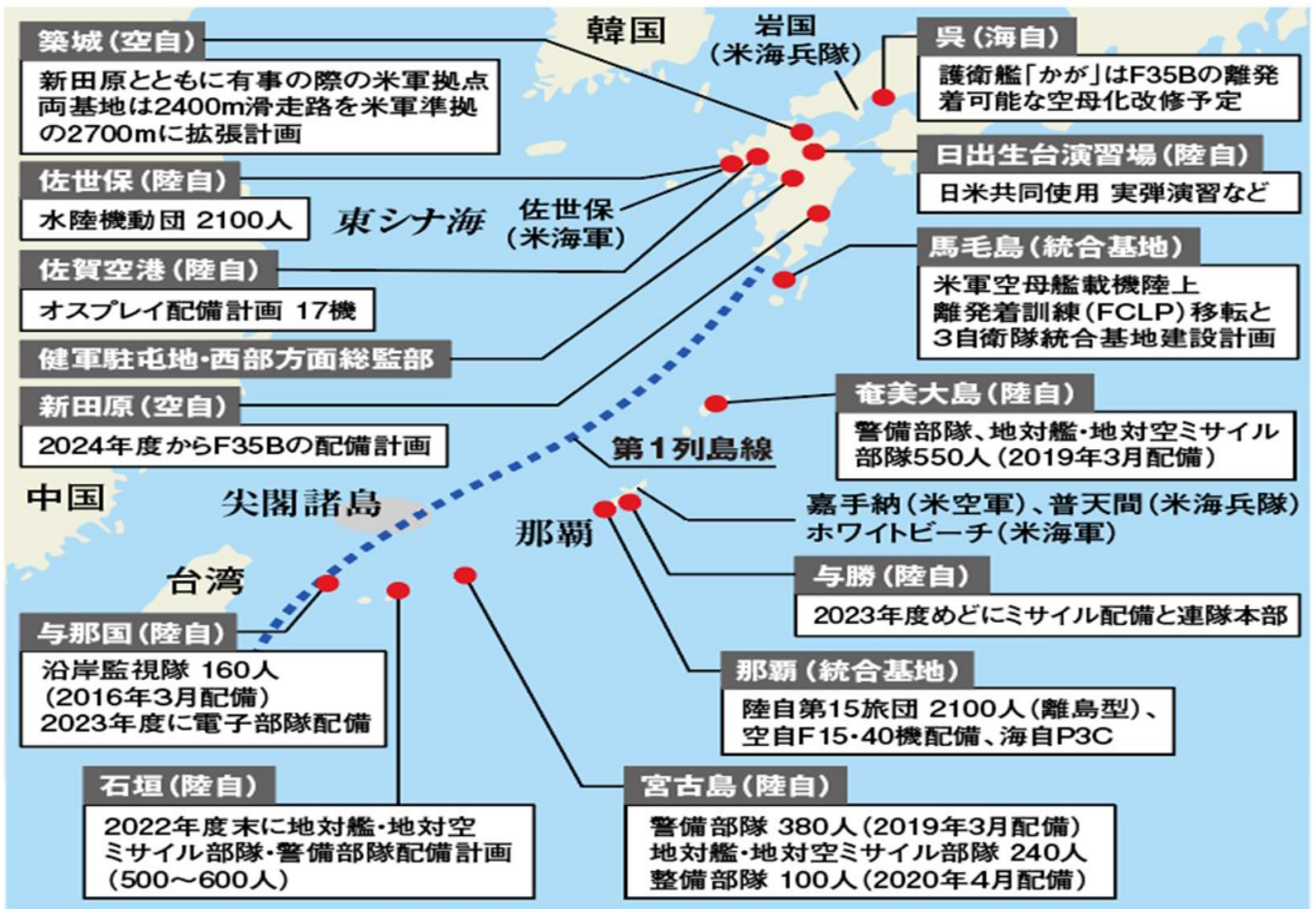


抑止力は戦争への道

政府は、「2022年版防衛白書」を7月22日に発表しました。これは12月に新たに策定される「国家安全保障戦略」「防衛大綱」「中期防衛力整備計画」の基礎となる文章です。中国やロシアへの脅威を煽り、大軍拡の必要性を主張しています。アメリカの中国敵視政策に同調し、白書別冊で、「平和を生む抑止力」と題した特集を組んでいます。私たちは「抑止力＝軍事力では平和はつくれない」と主張してきました。特集では南西諸島への自衛隊配備を示した大きな地図が示され、「防衛力の強化」の必要性が強調されています。9条があるにもかかわらず、ここまで来ました。これを前提に、今回の展示のポイントは以下です。

- ①米軍の作戦計画も自衛隊の作戦計画も南西諸島に住む住民の生命も生活を無視せずには実行できません。77年前の地上戦の記憶は「日本は我々をまた捨て石にする気か」と私たちに突き付けています。
- ②九州の基地群が南西諸島の後方支援地域となり、同時に司令部となります。これは南西諸島だけではなく、九州も戦場になるということを示しています。
- ③戦前の「帝都東京」を守るための捨て石作戦計画です。
- ④米軍から見れば、島々がそれぞれ不沈空母として位置付けられ、日米の相互運用性により、米軍基地・自衛隊基地の相互利用の強化・一体化が追及されています。
- ⑤対中国への米軍中距離核ミサイル配備計画が強行されようとしています。「核共有」どころか、破滅的日中関係が生まれてしまいます。

第1列島線における日米軍事基地配置図



北熊本駐屯地 第8師団司令部

◇島嶼防衛体制を担う西部方面隊の中核。

機動力や警戒監視能力を備える即応機動部隊からなる「機動師団・旅団に改編」。第8師団は、先駆けて「機動師団」化される。

◇電子戦部隊新設

2021年3月陸上自衛隊の「電子戦」専門部隊が健軍駐屯地で発足し、電磁波は宇宙、サイバーと並ぶ新たな軍事領域。陸自は九州・沖縄を中心に5ヶ所の電子戦部隊をさらに増設。司令部を朝霞駐屯地（東京都練馬区など）に置く。

島嶼防衛の司令部



相浦駐屯地

◇2018年3月発足。2400人規模で配置。2023年度末に竹松駐屯地（大村市）に発足させ3000人規模に。

◇日本版海兵隊と言われる。島嶼防衛において統合機動防衛力に基づき、島嶼奪回能力を保持し、水陸両用作戦任務に対応「奪回」の任務を担う。

水陸起動団

海上自衛隊・陸上自衛隊と、アメリカ海軍・海兵隊・空軍が参加し、2022年2月3日（木）から2月7日（月）まで



日米共同演習「ノーブル・フュージョン 2022」を実施。2022年7月 陸上自衛隊所有のオスプレイが、長崎県内に初飛来し、水陸起動団と訓練

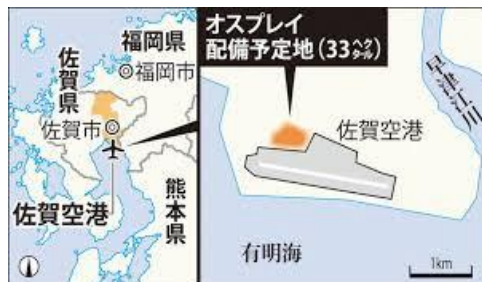


出典：陸上自衛隊 web サイト

<http://www.mod.go.jp/gsdf/about/structure>

佐賀空港

オスプレイ配備予定



島嶼部等への迅速かつ効率的な輸送をするため、V-22 オスプレイ 17機と目達原駐屯地に所在するヘリコプター約 50 機を加えた合計約 70 機、配置予定。地元、漁協は反対をしているため、現在、木更津駐屯地に暫定配備されている。

築城基地(空自) 有事展開拠点基地

- ◇滑走路東側の公有水面を約 21ヘクタールを埋め立てて約 300メートル延長し、普天間飛行場と同規模の約 2700メートルにする。
- ◇基地内に米軍用宿舎(200人収容可能)、駐機場・燃料庫・弾薬庫などが建設中。緊急時には米兵約 200人、戦闘機 12機、輸送機 1機の受け入れを想定。2016年、米軍岩国基地の第一代替飛行場として指定。
- ◇2018年10月24日の日米合同委員会で、築城基地と宮崎県の新田原基地などに、緊急時に米軍機を受け入れる施設の整備を進めることに合意。F-2A/Bを運用する第8航空団が主力。



鹿屋基地(空自) 米軍の無人偵察機部隊の配備

- ◇2022.7.30 米空軍無人偵察機MQ9の一時展開に提供すると閣議決定。管制塔や格納庫、整備場など7棟と、全ての滑走路や誘導路、駐機場の約 269万 9000平方メートルを米軍に提供。南西諸島の監視強化の一翼を担い、「日米同盟の抑止力対処力の強化と、警戒・監視能力向上」を図る。
- ◇2019年から米軍岩国基地(山口県)に駐留する KC130 空中給油機の訓練の一部移転を受け入。
- ◇米軍の補給源。日米物品役務相互提供協定(ACSA)に基づき、2020、21年度に燃料などを提供した件数は2年連続で最多ペース。



新田原基地(空自) ステルス戦闘機F35B配備

政府が想定するF35Bの運用



- ◇2024年度に6機、25年度に2機を配備し、将来的に約 20機の1個飛行隊を編成する。
- ◇F35Bはレーダーに感知されにくいステルス性能を備え、短距離離陸、垂直着陸ができるのが特徴。
- ◇2018年に日米政府により、有事など緊急時に米軍の戦闘機や輸送機が新田原基地を使用できるよう、同基地内に米軍の駐機場(4万㎡)、燃料貯蔵タンク(既

存の地中タンクを貯蔵量9000klに拡張)、誘導路、庁舎・倉庫等を整備。日米共同訓練だけでなく「緊急時」に使用。緊急時に米軍の戦闘機 12機、輸送機 1機、米兵約 200人の受け入れが可能に。

呉基地(海自) 空母型護衛艦「かが」配備

- ◇最新鋭ステルス戦闘機 F35B の運用を想定した「空母化」を図るため、改修工事を開始。◇相手領域内のミサイル発射基地などを破壊する「反撃能力(先制攻撃)」の一翼を担う。◇横須賀基地を母港とする同型の護衛艦「いずも」と 2隻の「空母化」に着手。◇改修には、2021年度予算で 203億円を計上。



2017/4/3 毎日新聞

拡大する軍事産業 「敵基地攻撃能力」兵器の開発！

三菱重工小牧南工場

国産戦闘機「F2」の後継機開発

◇航空自衛隊の F2 戦闘機が 2035 年頃から順次退役することから後継となる次期戦闘機を三菱重工（小牧南工場）が主力になり、川崎重工・IHI などと共同開発する。
◇後継機はレーダーに発見されにくい国産初のステルス戦闘機として開発され、長距離巡行ミサイルを搭載する案もあり、2035 年には配備を開始し、90 機を配備する予定。
開発には、イギリスの航空防衛大手 BAE システムズと機体を中心とする構成品の共同開発し、エンジンは IHI がイギリスロールス・ロイスと共に開発を担う。



三菱重工小牧北工場

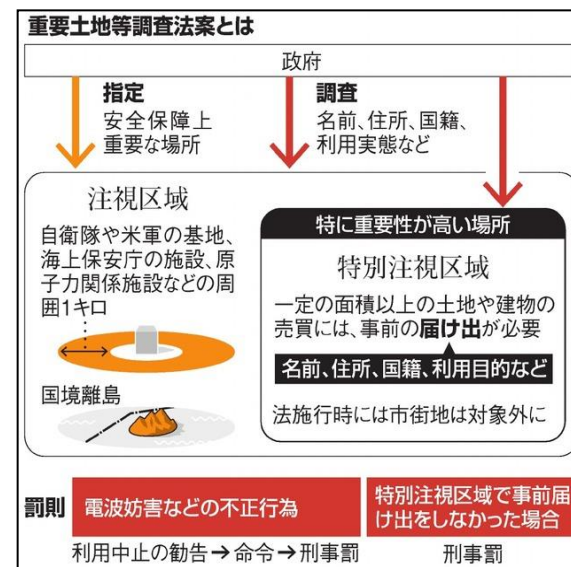
スタンドオフミサイルの開発

陸上自衛隊が運用する 12 式地对艦誘導弾の射程を将来的に 1500 キロに延伸。主契約者は三菱重工で、現在の射程約 200km から当面は 900km を目指して開発されるが、最終的には射程 1,500km まで延伸。射程約 2000 km の新型の対艦誘導弾も開発（川崎重工）。今後、地对艦だけでなく空対艦、艦対艦も開発。
◇南西諸島に配備されれば、北京・平壤も射程に。



住民監視、運動つぶしの 土地規制法

土地規制法とは、安全保障上、重要な施設周辺の土地取引や利用を規制する。
自衛隊や米軍基地のほか、国境の離島など、重要施設の周囲約 1 キロを「注視区域」に指定し、土地の利用状況などの調査権限を政府に与える。また、特に重要な施設周辺は「特別注視区域」に指定し、一定面積以上の土地売買に事前届け出を義務付ける。昨年 6 月に成立し、今年 9 月に本格的に施行される。

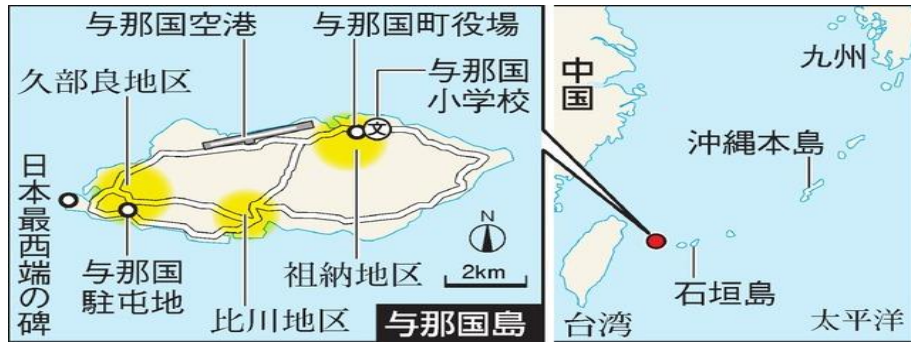


問題点

- ◇「注視区域」においても「特別注視区域」においても、土地建物の所有者や賃借人らの氏名、住所、国籍、土地の利用状況などを調査し、思想信条、所属団体、友人関係、海外渡航歴などに至るまで、個人情報収集し、利用制限を加え、従わなければ罰則もあるというもので、市民の権利や生活に重大な侵害を引き起こす。
- ◇基地や原発など監視活動や反対運動をする人たちに対して、運動を委縮させ弾圧の口実になる可能性がある。
- ◇「生活関連施設」の拡大対象で日本中どこでも対象になる可能性がある。
- ◇調査、規制などはすべて内閣総理大臣が行い、国会への報告や検証する仕組みが作られておらず、内閣総理大臣に強大な権限と権力を与える。
- ◇そもそも、立法目的に関する立法事実が示されていない。

与那国島

台湾から111km



2016. 3. 26 沿岸監視隊が駐留 電子戦部隊も配置予定

指摘される問題点

- ★レーダー(電磁波)による健康被害
- ★住民の要求は「経済効果」であった
- ★移動式レーダーも配置し、有事には全島が攻撃されるおそれ
- ★住民への説明なしに弾薬庫を設置
- ★住民1400人のところに250人の自衛隊とその家族が移住の結果、住民自治が損なわれるおそれなど

石垣島

住民投票無視



建設中の基地(500~600名配置)



港の軍事使用も

指摘される問題点

- ★自治基本条例を改悪し、住民投票の権利を奪う
- ★沖縄県の環境アセスの対象から逃れるため、施行1カ月前に着工
- ★配備されるのは車載式ミサイルなので有事には島中が標的にされる
- ★有事の住民避難計画がズサン
- ★用地は過去に違法開発の可能性が高い
- ★基地の排水溝が宮良川に流れ込み、周辺には農業用水、飲料水のくみ上げ施設がある 飲料水汚染の憂慮

奄美大島

南西諸島の軍事拠点



広大な基地



指摘される問題点

- ★1億4千万の土地が7億9千万となって売却される
- ★奄美は自然遺産登録されてい。
- ★21年度電子戦部隊配備・射撃場(大熊)、大規模弾薬庫・1000メートル×5(節子) = 兵站拠点 あいついで決定
- ★行軍訓練(小銃携行、水路侵入訓練) 鎮西26演習では民間輸送船を借り上げて兵器搬送
- ★基地誘致派の理主張 交付税、人口増による地域活性化、災害時の迅速な対応期待。米軍はだめだが自衛隊は問題ない、の認識
- ★ミサイル部隊日米共同訓練・オリエンシールド(2021・7)、→結局米軍が入ってくる など

馬毛島

自衛隊の訓練拠点・戦略物資展開拠点



馬毛島に自衛隊施設を整備する必要性

- 南北に広大な南西地域の島嶼部において、
- ① 陸海空自衛隊が訓練・活動を行い得る施設
 - ② 整備補給等後方支援における活動を行い得る施設
 - ③ 米空母艦載機の着陸訓練(FCLP)の施設が必要

馬毛島に自衛隊の訓練施設・緊急時の活動施設を整備することは、わが国の防衛上、極めて重要です。

- ① 陸海空自衛隊が訓練・活動を行い得る施設
主に自衛隊の訓練で使用します。年間を通じて自衛隊が管理し、基地機能を維持管理するための要員が常駐します。

実施する可能性のある主な自衛隊の訓練



※上記は、現時点でのイメージであり、上記以外の装備品を使用した訓練を行う可能性があります。各訓練の実施時期・期間・規模等については、各自衛隊の計画の中で検討されます。

指摘される問題点

- ★市長(反対を掲げて当選した)が計画の賛否をしめさないなか7億円が予算計上さ、事実上計画が進められている
- ★西之表市の市民団体は30万筆の反対署名を2020年11月17日に提出している
- ★FCLP(米軍 空母艦載機離着陸訓練)や自衛隊機の訓練が行われ、騒音が懸念される。夜間訓練も予想され、「心疾患、睡眠障害が生じ得る」との指摘も。馬毛島は種子島から10km
- ★周囲はトコブシ、トビウオなどの優良な漁場。工事の影響も心配される 森林などの自然が破壊される。マゲシカ(絶滅のおそれのある地域個体群に指定されている)が生息している



マゲシカ

宮古島



銃を持って威嚇？

水質を汚染する恐れ



南西諸島に配備される12式地对艦誘導弾・SSM

- 指摘される問題点**
- ★宮古島は飲料水のすべてを地下水に依存 地下水汚染のおそれ
 - ★弾薬庫から民家まで200mしか離れていない
 - ★「弾薬庫を保管庫」とウソの説明をし、ミサイル等を保管など
 - ★800人ももの隊員が来れば行政にも影響 など

沖縄島

地对艦ミサイル部隊の本部

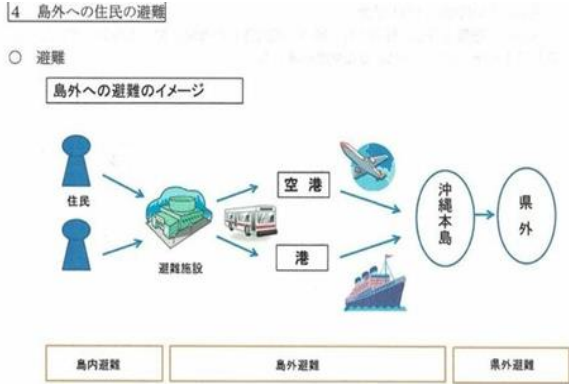


2023年度をめどにうるま市の陸上自衛隊勝連分屯地に地对艦ミサイル(SSM)部隊を配備する計画を巡り、防衛省は同分屯地に南西諸島のSSM部隊をまとめる「連隊本部」の設置を検討している。部隊を指揮統制する本部機能のほか、射撃中隊や整備部隊の配備を検討。180人規模となる見通し。

有事の住民避難計画 無理だ！

石垣では全島民が避難するのに10日、宮古では航空機381機が必要との試算

武力攻撃事態においては、主たる任務である武力排除を全力で実施するとともに、国民保護措置については、これに支障のない範囲で住民の避難・救難の支援や武力攻撃災害への対処を可能な限り実施する。
『防衛白書』(2016年版)



「石垣市民国民保護計画」より

自衛隊は住民を守らない！